



Vol. 7 刈取り・搬入編

【2017.9.29】

稲穂の色も黄金色に色づき、いよいよ収穫の時期となりました。今年も順調に稲が生育し、昨年並みの収穫開始となりました。連休中は、台風の影響がありましたが全般的には順調に刈取り・搬入が行われ、次々とカントリーに運ばれてきました。

今年も、夏場の生育期に雨が多く日照不足による生育不良が心配されましたが、順調に生育し、昨年並みの刈取り時期を迎えました。稲穂が黄金色に色づき蒲生の田園では、生産者さんが忙しそうにコンバインで刈取り作業をする姿が見られました。

連休中、台風上陸により刈取りが出来ないなど影響がありましたが、倒伏などの被害もなく、それ以降は天候にも恵まれ順調に刈取り作業が進みました。

刈取り後、収穫された籾は、籾が90kg入るフレキシブル・コンテナに詰められ、軽トラックなどに積み込まれ、集荷施設のカントリーエレベーターまで搬入されます。搬入後、写真の様にカントリー内に流し込まれ乾燥機へと送れます。乾燥作業は、職員が24時間体制で交代し、均一に乾燥がされるように調整しながら乾燥作業をしています。乾燥後は、貯蔵され出荷前に籾すりして出荷されます。



↑コンバインで刈取り作業の様子



←フレコンからカントリーに籾を流し込むの様子



←フレコン搬入の様子